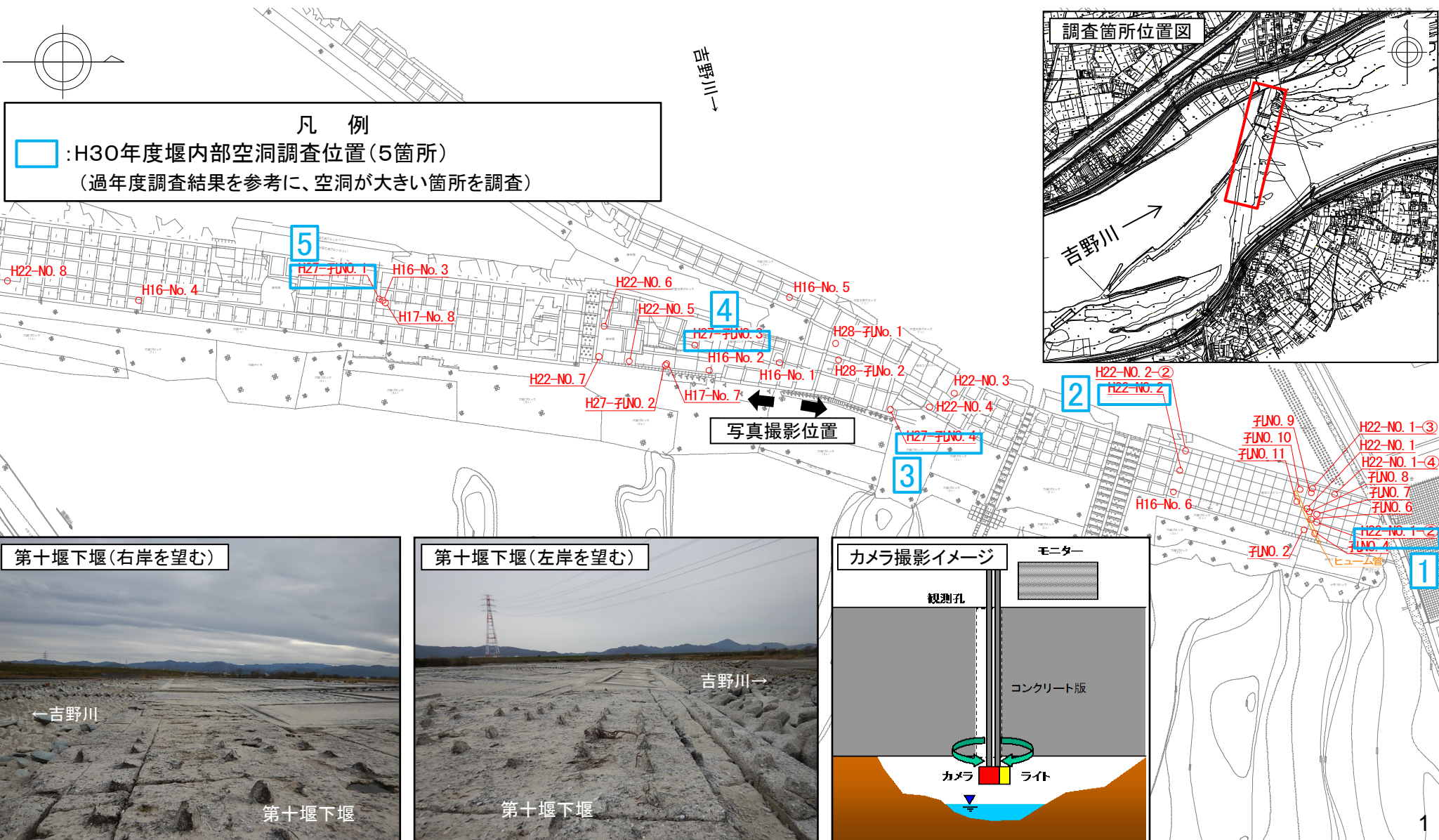


# 堰内部空洞調査 《別添-2》

# 堰内部空洞調査 概要

## (1) 調査実施箇所

過年度に実施した空洞内部調査箇所のうち、特に空洞が大きい箇所に対し、既設観測孔から挿入したカメラで孔内を撮影し、空洞状況の確認を行いました。



# 堰内部空洞調査結果

## (2)調査結果

平成30年度の空洞内部調査結果は下記の表のとおりで、厚さ約5cm程度の空洞を1箇所確認しましたが、その他箇所では土砂等が堆積し、空洞は確認できませんでした。土砂等の堆積物は、洪水時に土砂が堰下に流れ込み空洞内に堆積したか、または観測孔入口部分から流れ込み堆積したと考えられます。平成30年度の調査結果では、堰の機能に影響を与えるような空洞の拡大は発生していないと考えられますが、今後も注視していく必要があります。

### 調査結果

No.	調査箇所名	平成22年度 調査結果	平成27年度 調査結果	平成30年度 調査結果
1	H22-NO.1-②	空洞有 約20cm	×	空洞無
2	H22-NO.2	空洞有 約7.5cm	×	空洞無
3	H27-孔NO.4	×	空洞有 約3cm	空洞無
4	H27-孔NO.3	×	空洞有 約26cm	空洞無
5	H27-孔NO.1	×	空洞有 約26cm	空洞有 約5cm

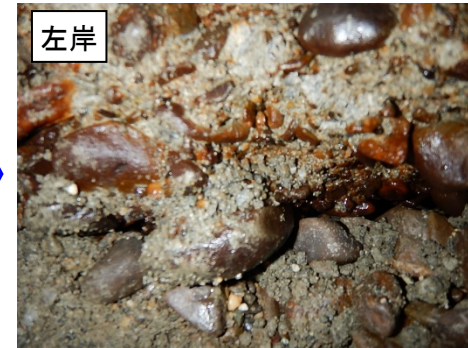
※ × : 調査未実施

# 空洞内部調査

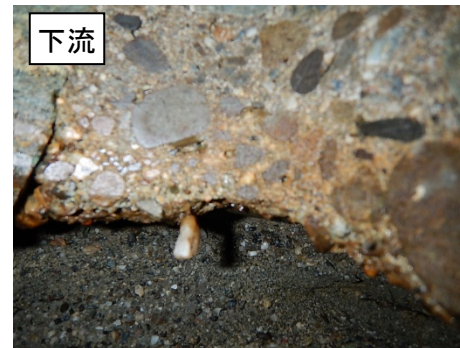
## (2) 調査結果

①(H22-NO.1-②): 過年度調査で確認できた空洞箇所は、土砂が堆積しており、空洞の拡大は確認できませんでした。

観測孔状況



※空洞化に見えるのは、観測時の孔内洗浄掃により土砂が流出した為。奥側は堆積している。

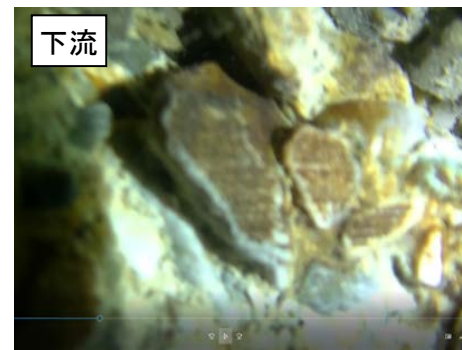
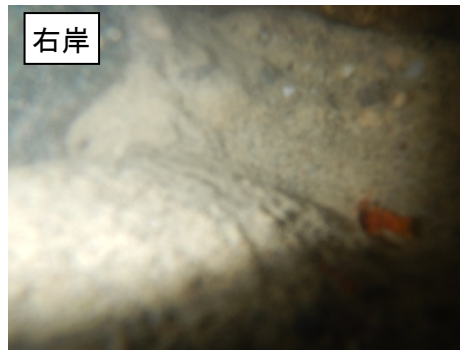
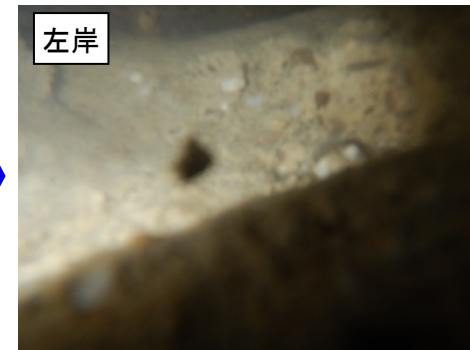
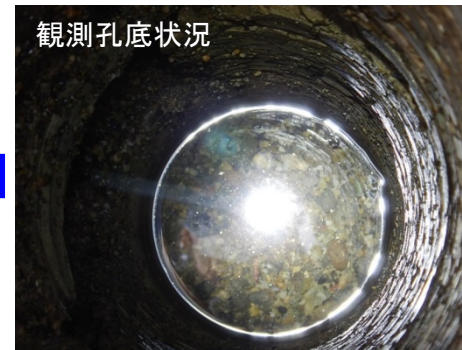
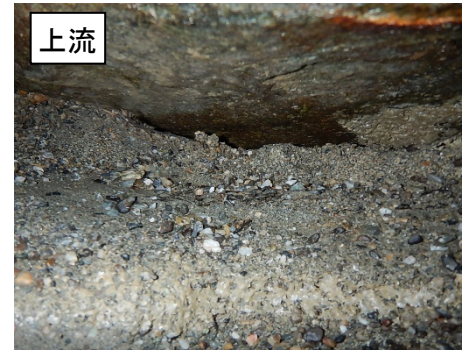


# 空洞内部調査

## (2) 調査結果

②(H22-NO.2) : 過年度調査で確認できた空洞箇所は、土砂が堆積しており、空洞の拡大は確認できませんでした。

観測孔状況

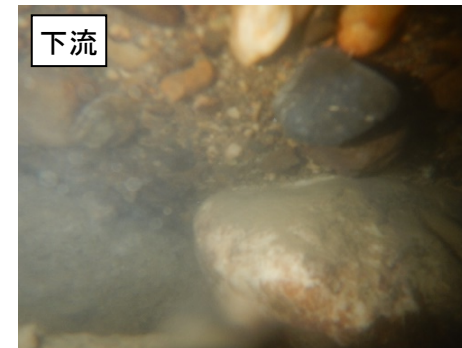
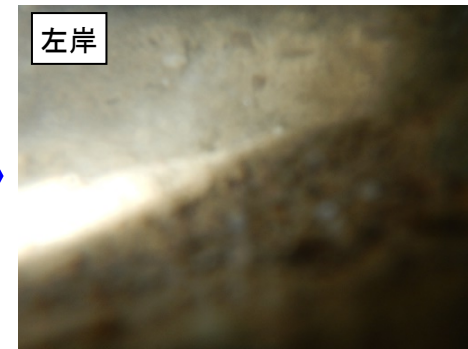
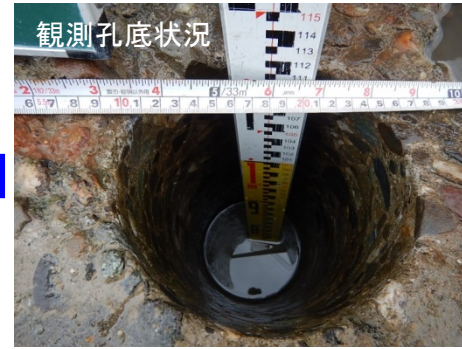
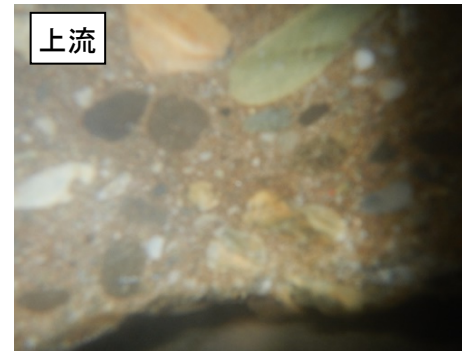
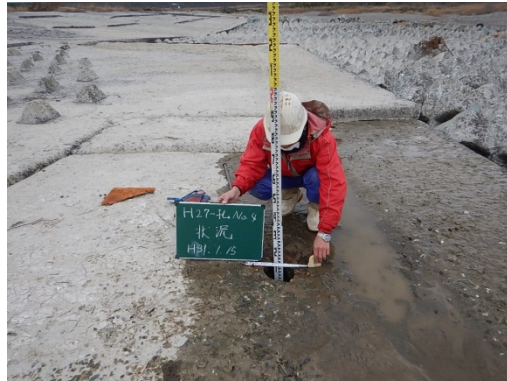


# 空洞内部調査

## (2) 調査結果

③(H27-孔NO.4) : 過年度調査で確認できた空洞箇所は、土砂が堆積しており、空洞の拡大は確認できませんでした。

観測孔状況

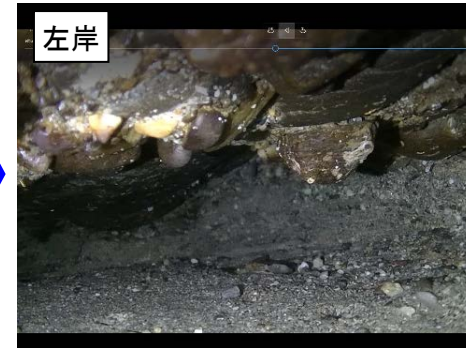
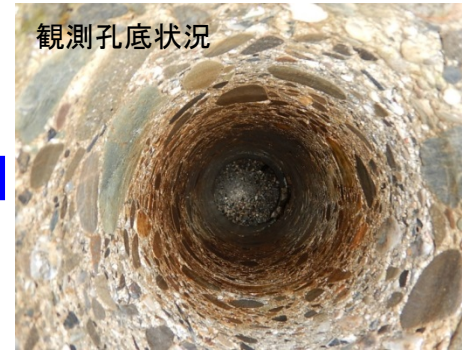


# 空洞内部調査

## (2) 調査結果

④(H27-孔NO.3) : 過年度調査で確認できた空洞箇所は、土砂が堆積しており、空洞の拡大は確認できませんでした。

観測孔状況



※空洞化に見えるのは、観測時の孔内洗浄により土砂が流出した為。奥側は堆積している。

# 空洞内部調査

## (2) 調査結果

⑤(H27-孔NO.1): 今回調査で、厚さ約5cm程度の空洞を確認しました。

観測孔状況

